

日野市はごみ処理の広域化を進めます

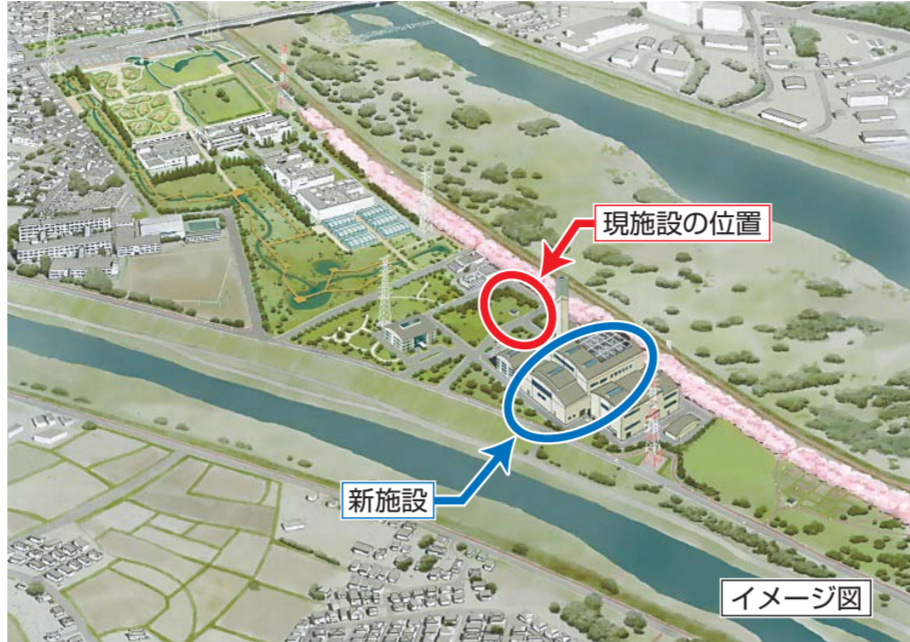
市では、クリーンセンター可燃ごみ処理施設の建て替えに伴い、ごみゼロ社会の推進、資源循環型社会の構築、環境負荷の低減、市の財政負担軽減から、小金井市、国分寺市と3市共同で可燃ごみの広域化を進めます。広報今号では、新しい可燃ごみ処理施設の概要や、ごみ処理の広域化に

伴う環境への影響などをお知らせします。また、日野市民の方を対象に、ごみ処理の広域化に関する説明会を市内全域で開催します。どなたでも参加できます。ぜひ、ご意見をお聞かせください。
■クリーンセンター (☎581-0444)

新しい可燃ごみ処理施設の概要

●施設の建設場所は？

新しい可燃ごみ処理施設は、現施設内の旧し尿処理施設の解体跡地に建設する予定です。



●新しい可燃ごみ処理施設の環境保全～トップクラスの排ガス基準に
新しい可燃ごみ処理施設の排ガス基準は、より一層の環境保全を目指し、現施設よりも高度な排ガス処理技術を導入します。これは、全国でもトップクラスの厳しい排ガス基準です。

	法律※1	現施設の自主規制値	新施設の自主規制値
ばいじん g/m^3	0.04	0.04	0.005
硫黄酸化物ppm	約2,100※2	30	10
窒素酸化物ppm	250	150	20
塩化水素ppm	430	150	10
ダイオキシン類 $ng-TEQ/m^3$	現施設: 1 新施設: 0.1	0.5	0.01

※1 大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法による規制値
※2 硫黄酸化物は、煙突の高さや口径など、施設の仕様に応じて排出量を定める「K値規制方式」がとられています。この数値は、日野市に定められているK値=6.42と、想定される施設の仕様から算出した想定値になります

●新しい可燃ごみ処理施設の概要

新しい可燃ごみ処理施設は、ごみ発電や温水利用、環境学習機能を備えた施設として計画しています。

施設規模	・290トン/日 (145トン炉2基)
燃焼設備	・ストーカ炉
焼却灰の処理	・エコセメントとして再利用
熱エネルギーの利用	・ごみ発電による売電 ・温水による熱エネルギーの利用
事業スケジュール	・平成31年度中の稼働を予定

※循環型社会形成推進地域計画から

◆皆さまのご意見をお聞かせください ～ごみ処理の広域化について説明会を開催

ごみ処理の広域化について、市民の方からのご意見を伺うため、日野市民の方を対象に説明会を開催します。どなたでも参加できますので、ぜひご意見をお聞かせください。



●開催日と会場

- 6月26日(水)午後7時～8時30分 平山季重ふれあい館
- 27日(木)午後7時～8時30分 七生中学校食堂
- 28日(金)午後7時～8時30分 多摩平の森ふれあい館
- 30日(日)午前10時～11時30分 三沢中学校食堂
- 30日(日)午後2時～3時30分 生活・保健センター
- 7月3日(水)午後7時～8時30分 大坂上中学校食堂
- 4日(木)午後7時～8時30分 日野第三中学校食堂
- 5日(金)午後7時～8時30分 日野第四中学校食堂

●申し込み

当日、直接会場へお越しください。

環境影響について

●周辺の大気環境～排ガスの影響は非常に少ないものに

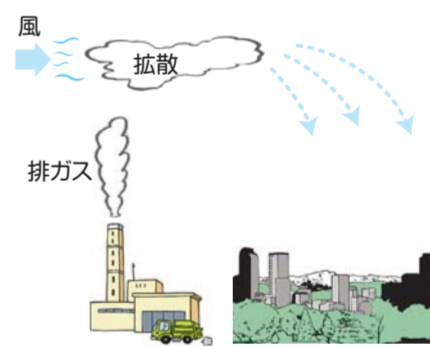
現在稼働中のクリーンセンター周辺の環境は、日野市が測定した結果、国が定める環境基準を大幅に下回っており、良好な環境にあると言えます。さらに新施設の排ガスによる周辺環境への影響については、近隣市類似施設の排ガス拡散シミュレーション結果によると、数値は大幅に下回り、新しい可燃ごみ処理施設が、全国でもトップクラスの厳しい排ガス基準を設けることから、排ガスによる影響は非常に少ないものになります。

クリーンセンター周辺の大気環境

排出物質	環境基本法に設定されている環境基準	現クリーンセンター周辺の実測値※1	新施設の予測値(類似施設のシミュレーション結果から)
浮遊粒子状物質 mg/m^3	0.1	0.031	0.00026
二酸化硫黄ppm	0.04	0.006	0.00026
二酸化窒素ppm	0.04	0.024	0.00007
塩化水素ppm	— ※2	0.0008	0.00026
ダイオキシン類 $pg-TEQ/m^3$	0.6	0.0057	0.00026

※1 平成20年度に実施した周辺環境調査の落川交流センターの値
※2 塩化水素については、環境基準の設定がありません

排ガスによる周辺環境への影響



排ガスは、拡散しながら冷やされ降下します。類似施設のシミュレーション結果によると、拡散により数十万分の1に希釈され、周辺環境への影響は非常に少ないものになります。

ダイオキシン類の影響～健康を損う値ではありません

ダイオキシン類とは、炭素、酸素、水素、塩素を含む物質が熱せられるような過程で発生する副生成物です。(環境省資料より)ほとんどが食品からの摂取であり、新しいクリーンセンターの排ガスによる影響はきわめて微量で、人への健康被害は、ほとんどありません。

●ごみ収集車の排気ガス影響を緩和

広域化により、ごみ収集車の台数は増加が見込まれます。その対策として、ごみ収集車の排気ガスによる影響を緩和するために、従来の浅川沿い搬入ルート住宅の少ない石田大橋側からの多摩川沿い搬入ルートに切り替えます。また、ごみ収集車を天然ガス自動車やハイブリッド自動車など、環境配慮型に順次切り替えていきます。なお、今後はごみ減量をさらに進め、収集車の台数を減らしていく取り組みも行っていきます。

環境配慮型に順次切り替えます



紙面から

日野市はごみ処理の広域化を.....1・8
進めます

水の郷フォーラム～日野の宝、.....2
守るべき水辺とは

6月4日付で新副市長が就任.....4

芸術文化の薫るまちコンサート.....6

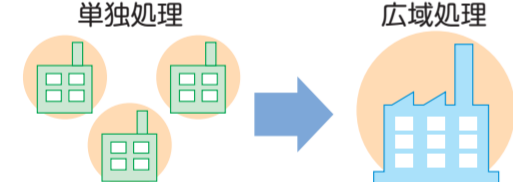
平成25年
スポーツ祭東京2013開催



ごみ処理の広域化とは？

それぞれの自治体で焼却処理(単独処理)していたものを集約し、複数の自治体で共同処理することで、費用がかかる高度な処理技術を導入することができます。これにより、ダイオキシン類などの発生を抑えたり、より多くの熱エネルギーを有効活用することができます。また、建設費や維持管理費を低減することで、ごみ処理の効率化を図ります。

広域化のイメージ



広域化の効果

- ①排ガス処理の高度化
- ②ごみ発電などによるエネルギー有効活用
- ③建設費、維持管理費の削減

ごみゼロ社会を目指し3市共同で可燃ごみの再資源化を推進～循環型社会の形成を進めます

日野市では、将来的な「ごみゼロ社会」を目指し、これまで市民・事業者との協働により、積極的にごみの減量を進めてきました。

また、小金井市、国分寺市でもごみ減量に取り組んでおり、小金井市では全国でもトップクラスのごみ減量を実現させ、国分寺市でも6月からごみ袋の有料化を行い、更なるごみ減量に努めていきます(3市の1人当たりのごみ量は下表参照)。

今後、先進的にごみ減量に取り組む3市で徹底したごみの減量を進め、循環型社会を推進するごみ処理システムを構築していきます。

<3市により進めていくこと>

- 新たな分別収集システムの構築
- バイオ燃料化(エタノール)・堆肥化・バイオガス化などの共同出資による再資源化の検討
- 環境面におけるCO₂削減などの環境低減

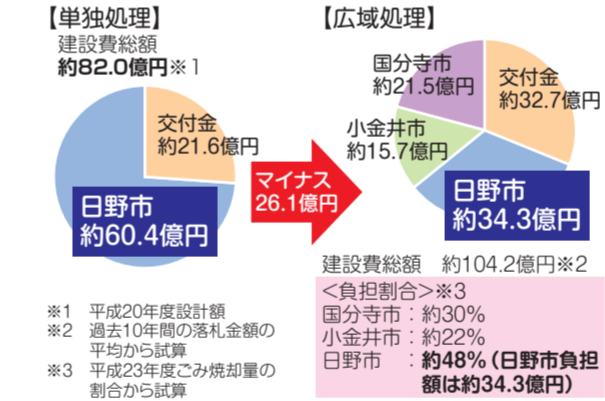
平成23年度3市の総ごみ量(1人1日当たり 単位グラム)

日野市	小金井市	国分寺市
681.0	611.7	727.5

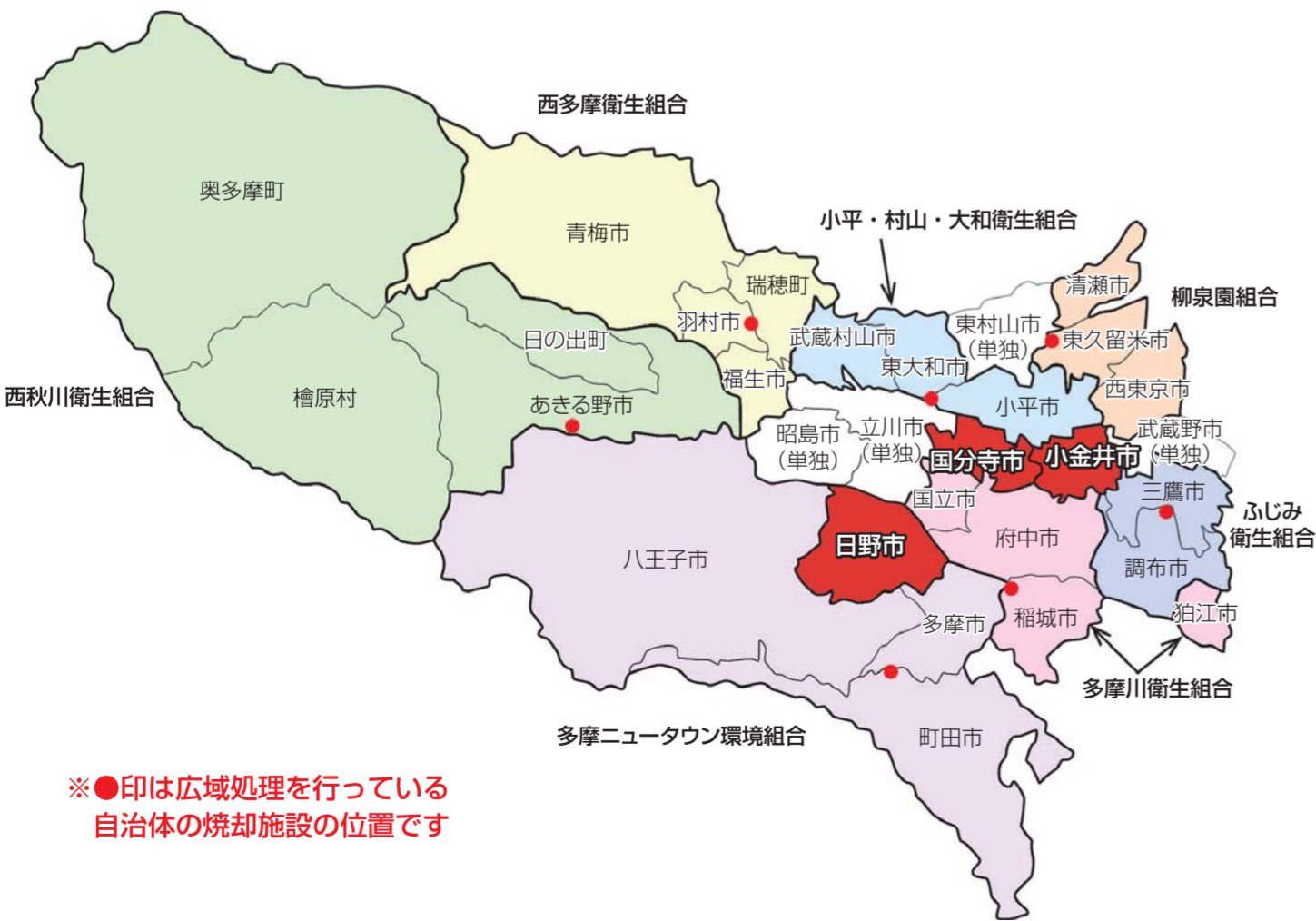
費用負担を少なく

可燃ごみ処理施設建設にかかる費用は、日野市、小金井市、国分寺市の3市で負担します(負担割合は今後決定)。財政状況が厳しい中、3市で負担を分割できることから、日野市の負担額は、単独処理よりも少なくなります(交付金「国からの補助」を除いた金額)。なお、下表の数値は平成24年11月時点での試算額です。

費用比較(地元説明会資料から)



多摩地域における可燃ごみ処理施設の広域化の状況



■多摩地域の3分の2は共同処理

左図の通り、多摩地域の3分の2(多摩地域30市町村のうち20市町村)は、共同で可燃ごみの焼却処理を実施しています(八王子市と町田市は単独での処理施設もあります)。

■焼却灰は日の出町ですでに広域処理がされています

日野市の焼却処理で生じる焼却灰は、すでに広域処理として、日の出町に設置されている広域処理施設で、エコセメントとして再利用および最終処分されています。なお、不燃ごみについても、日の出町にて最終処分されています。

日野市の人口

	男性	女性	計	世帯
6月1日	90,359	88,861	179,220	82,747
5月1日	90,303	88,801	179,104	82,742

■毎月1日・15日発行 ■発行/日野市 ■編集/企画部市長公室
〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1 TEL.042-585-1111(代) FAX.042-581-2516
ホームページ <http://www.city.hino.lg.jp/>
携帯電話版 <http://www.city.hino.lg.jp/mob/>
(左のQRコードをバーコード読み取り機能付き携帯電話で読み取ってください)
Eメール soudan@city.hino.lg.jp



11月3日 日野市市制施行50周年